

## 第16回 子の権現(2)

第11支部 (有)東洋塗料商会  
文化厚生委員長 大根田芳宏  
平成15年12月23日 晴れ時々くもり

玄人は後悔しました。

磯部さんにハイキングに誘われたとき素直にOKしました、不思議なくらい素直に。ハイキング同好会のことは気になっていました。特に去年の川苔山のことは。でも右膝の古傷が出て、みんなに迷惑をかけるのではないかとためらっていました。

玄人は準備しました。

あと二週間しかないがジョギングを始めた。毎日夜9時になると井の頭公園から三鷹台駅まで往復一時間のコース、痛風のリハビリにはもってこいだ。

初めての参加のため、みなさんに打ち上げの時食べていただくため薫製を作った(卵、ホタテ、ニジマス)特にA級グルメのあの方のため、しかし忘年会が続いたため、出来ばえは今ひとつ。

下着の替え、靴下、タオル、コップ、ナイフ、軽めの昼食としてアップルパイを2個、ウイスキーのミニチュア瓶、ペットボトルの水、カメラ。

インターネットで集合場所の東吾野までの交通手段を検索、吉祥寺7:21分高尾行きに乗車、立川駅で青梅線に乗換、拝島駅で八高線に乗換、東飯能駅で西武池袋線に乗換8:40分には東吾野駅に到着、旅慣れた玄人は通勤でもしている様な素振りをするのである。

玄人はド素人になってしまった。

日の当たるベンチで缶コーヒーを飲み新聞を開きながらたばこを一服、時間が有るのでウォーミングアップをかねて近くを探索、これ玄人のたしなみである。集合の5分前に駅に戻った。玄人はこうでなくっちゃ、ところが誰もいない。若林さんより携帯に電話有り、東吾野と西吾野を間違えたことに気付く、急いで西吾野に、頭の中はA級グルメが怒っている光景が見えるようだ。

玄人は死ぬかと思った。

みんな待っているだろうと思ったが、そんな甘くはない健脚の二人だけが待っていてくれた、30分の遅れを取り戻すため必死に登った、口から心臓が飛び出しそうだった。

目的地近くにきてびっくりした。何と何と舗装道路に出た、おまけに駐車場まである、これならタクシーで来るんだった。

軽く食事をした、磯部さんが暖かい紅茶を入れてくれた、ウイスキーを入れて飲んだ。懐かしい味だ。すかさず薫製を出す、滅多に人のことを褒めないA級グルメも喜んでくれた。

玄人は汗と涙を流しました。

帰りは下りで楽である、しかし登りの時は必死で感じなかったが、頂上で飲んだ懐かしいウイスキー入りの紅茶の味のせいか、又川苔山の風景に似ているのか、昔のいやな思い出が走馬灯のように頭の中をグルグル回って来た。

忘れていたこと、忘れようとしたこと、玄人は昔山登りが好きだった、名画 Stand by Meがお気に入りである。昔の自分達がやってきたこと、そのものの映画である。

玄人は自分のせいで、川苔山で友人に怪我をさせてしまい、それ以来山登りをしていなかったし、その友達とも気まずい仲になってしまった。

玄人は寄り道をしました。

無事下山、よく立ち寄りらしい寿司屋さんで打ち上げをしました。A級グルメさんのお薦めの、うどんとそばをお土産に気まずくなった友達の所に「重くて持って帰れない」との理屈を付け寄り道をしました。おまけに安物のウイスキーまで付けて。

暖かい部屋の中ではなく、外でたき火をして、紅茶の中にはもちろんウイスキーを入れ、あまりたくさんしゃべりはしませんが、やつには、わかるのです。……  
Stand by Me

玄人は仕事もしました。

東京塗料商業協同組合ハイキング同好会に支給されたお金は公正かつ正当にしかも大変有意義に使用されていることを、ここに証明致します。